

第2次 あま市男女共同参画プラン

令和5年度特別事業評価シート

令和6年5月
あま市

■あま市男女共同参画プランについて

1 プラン策定の趣旨

本プランは、あま市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画、DV防止、女性の活躍推進に向けた具体的な施策を総合的・体系的に実施するために策定しています。

2 プランの性格等

- ・計画期間は、令和4(2022)年度を初年度とし、令和13(2031)年度を目標年度とします。(10年計画)
- ・策定及び進行管理は、あま市男女共同参画審議会、あま市人権施策推進本部等、幅広い知見と総合的な検討体制のもとで行います。
- ・本プランの施策は、本市が主体となって関係部局相互が連絡調整を図りながら全庁で総合的に取り組むものとします。なお、関係機関・団体や企業への働きかけも取組対象とします。

3 プランの進行管理と評価

- ・1年に1回、実施状況を確認し公表します。また、市民意識調査をおおむね5年ごとに実施し、施策の効果を検証してプランを見直します。

■あま市男女共同参画プランの年次評価について

評価対象	評価項目	評価者	審議会での取り扱い
全事業	・達成度(A:8割以上、B:4～7割、C:3割以下) ・今後の方針(内容、経費)	担当課	・報告、説明
特別事業 (重点的に評価する事業)	・達成度(A:8割以上、B:4～7割、C:3割以下) ・今後の方針(継続、拡充、縮小、廃止) ・経費の実績額(算定できる範囲) ・男女共同参画の視点による配慮度 ・担当課が定める事業指標2項目	担当課 ただし事業指標については、アンケート結果等の客観的評価(アウトカム)を優先して定めてください。	・報告、説明 ・審議会から評価コメントをフィードバック

すべての施策の実施において男女共同参画による視点を持つために ～ジェンダー分析、ジェンダー主流化とは何か～

政策・施策のジェンダー分析とは、社会や家庭における男女の役割・立場が異なっている現状を把握し、施策が男女にどのように異なる影響を与えるか、例えば、現状の格差を拡大するか、縮小するかを分析することである。税制、社会保障制度、賃金制度等、女性の就業を始めとする個人のライフスタイルの選択に大きなかわりを持つことが指摘されている制度については、このような分析が必要とされよう。ただし、これらに限らず、様々な分野においてジェンダーに敏感な視点が有意義である。

例えば、公共施設において、小さい子供を連れ歩くことが危険であったり、不便の多いような建物や接近路の設計が行われていると、子育て中の女性にとって、そこを利用するのは肉体的・精神的な負担が大きいことが予想される。また乳幼児を座らせておく場所が男性トイレにも設置されるようになれば、父親が子供連れで行動しやすくなることが予想される。

男女共同参画社会の実現のためには、あらゆる社会システムの構築とその運営に当たって、それらが実質的に女性と男性にどのような影響を与えるかを常に検討する必要がある。このように、ジェンダーに敏感な視点をあらゆる分野に定着・深化させること、また、あらゆる分野の政策・施策の実施主体がジェンダーに敏感になることをジェンダー主流化(gender mainstreaming)と言う。

第2次あま市男女共同参画プランの体系

(目標像)

いろいろな 私でいい あなたでいい みんなが笑顔で生きるまち

基本目標1

人権尊重と男女共同参画
への意識改革

基本方針

- 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発
- 2 子どもにとっての男女共同参画
- 3 男女平等意識を育てる教育・学習の充実

基本目標2

あらゆる分野での
男女共同参画の推進
(あま市女性活躍推進計画)

- 4 政策決定過程への女性の参画の拡大
- 5 様々な分野における男女共同参画の拡大
- 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組
- 7 誰もが働きやすい職場環境づくり

基本目標3

誰もが安心して暮らすこと
ができるまちづくりの推進

- 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援
- 9 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援
- 10 生涯を通じた女性の心とからだの健康支援
- 11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進

基本目標4

あらゆる暴力の根絶
のための基盤づくり
(あま市DV防止基本計画)

- 12 暴力の根絶に向けた意識啓発
- 13 犯罪防止に配慮した環境整備
- 14 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実

男女共同参画プラン 特別評価対象事業一覧

基本 目標	基本 方針	事業 番号	事業(取組)名	担当課
1	1	5	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	人権推進課
		8	男性全般を対象とした参加型講座の開催	生涯学習課
	2	25	スクールカウンセラーや心の相談員の配置	学校教育課
	3	31	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施	学校教育課
2	4	49	審議会、委員会への女性の登用促進	関係各課
		51	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実施や女性リーダーの育成	人事秘書課
	5	56	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	企画政策課
		57	社会教育活動を担う女性団体への支援	生涯学習課
	6	59	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知	商工観光課
		65	集団保育が可能な障がい児保育の実施	保育課
		66	病児病後児保育の実施	保育課
		68	ファミリー・サポート・センター事業の実施	子ども福祉課
		70	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施	障がい福祉課
		76	交流の場である「ふれあいカフェ(認知症カフェ)」の開催	高齢福祉課
	7	80	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供	人権推進課
3	8	88	シルバーカレッジ(市内在住または在勤の60歳以上の方を対象)、シルバーカレッジOB会(シルバーカレッジ卒業生を対象)の開催	生涯学習課
		89	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施	スポーツ課
		117	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供	スポーツ課
		130	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施	子ども福祉課
		138	性的マイノリティ(LGBT等)の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布	人権推進課
	9	145	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備	関係各課
	10	158	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施	健康推進課
	11	171	市の防災会議への女性の登用	危機管理課
		172	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進	人権推進課
4	12	176	女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日～25日)について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施	人権推進課
		184	地域防犯灯の設置支援	危機管理課
	14	197	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児全戸訪問)の実施	健康推進課
		198	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催	健康推進課

計 28

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	5	事業名	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革					基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発					
	施策②男女共同参画に関する理解を深めるための意識啓発と情報の提供										
施策概要	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等を開催する。 (男女共同参画講演会、男女共同参画週間パネル展、男女共同参画セミナー、男女共同参画職員研修)										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画			②達成度		③実績				④方針		
男女共同参画週間パネル展 開催日 令和5年6月23日(金)～6月29日(木) 場 所 美和文化会館 1階ロビー 内 容 みんなで!家事 男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部男女共同参画部会員 32人 開催日、内容 ①令和5年9月 複合的困難を抱える人に寄り添う ②令和6年2月 男性の家庭・地域参画			A:8割以上		男女共同参画週間パネル展 開催日 令和5年6月23日(金)～6月29日(木) 場 所 美和文化会館 1階ロビー 内 容 みんなで!家事 男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部男女共同参画部会員 32人 開催日、内容 ①令和5年9月8日(金) 複合的困難を抱える人に寄り添う ②令和6年2月21日(水) 「男性の家庭参画」から見る男女共同参画				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点 (自由記入)											
職員研修: 複合的困難を抱える人への配慮をテーマに開催することができた。 市民向けの啓発事業は中長期的計画の中で様々な角度から実施することが必要である。											
【参考指標】					【予算/実績】						
① 催事に参加した市民の満足度 (アンケート結果) 「非常に満足」または「満足」の割合					講演会、パネル展、セミナー、職員研修にかかる報償費、需用費、委託料等						
② 職員研修参加者の満足度 (アンケート結果) 「非常に有効」または「有効」の割合											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	82.5%	65.6%				予算(千円)	401	66	52		
②	96.7%	69.7%				実績(千円)	232	40			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価 (該当する項目に○)											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画 (他部署との連携協力を含む) した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫 (情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等) をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										5点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	8	事業名	男性全般を対象とした参加型講座の開催				担当課	生涯学習課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革					基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発					
	施策③男性の意識改革や家事参加に向けた取組										
施策概要	生涯学習講座の1コマとして、男性全般を対象とした参加型講座を開催する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
生涯学習講座において、男性全般を対象とした参加型講座「DIY講座」を開催する。 開催日：11月19日（日）・25日（土） 場 所：甚目寺公民館 実習室 時 間：午前9時30分から午後0時30分 対 象：小学生とその保護者 定 員：7組14名					A:8割以上	生涯学習講座において、男性全般を対象とした参加型講座「DIY講座」を開催した。 開催日：11月19日（日）・25日（土） 場 所：甚目寺公民館 実習室 時 間：午前9時30分から午後0時30分 対 象：小学生とその保護者 定 員：7組14名 参 加：5組10名 内 容：木工で数字パズルを製作した。					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 講座回数						講師謝礼					
② 定員に対する参加率											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	5回	5回	5回			予算（千円）	350	350	350		
②	55.0%	70.0%				実績（千円）	350	350			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	25	事業名	スクールカウンセラーや心の相談員の配置				担当課	学校教育課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革					基本方針 2 子どもにとっての男女共同参画					
	施策⑥児童虐待等の早期発見と未然防止										
施策概要	学校支援会議を開き、スクールカウンセラー・相談員（市雇用）を派遣する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
校長からの要請があり、緊急ケース会議が開かれることとなった場合、希望があって調整がつけば教育相談センターの心理支援相談員及びスクールカウンセラーも会議に参加する。					C:3割以下	令和5年度は緊急ケース会議を4回開催したが、校長からの要請がなく、心理支援相談員が参加した緊急ケース会議はなかった。					拡充
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入） 家庭へ積極的に働きかけるため、スクールソーシャルワーカーを新たに配置する必要がある。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 心理支援相談員数						教育相談支援費					
② 心理支援相談員が緊急ケース会議に参加した回数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	3人	3人				予算（千円）	6,013	5,659	9,155		
②	0回	0回				実績（千円）	5,448	5,529			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	31	事業名	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施				担当課	学校教育課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革					基本方針 3 男女平等意識を育てる教育・学習の充実					
施策概要	施策⑦男女平等の意識を育てるための教育の充実										
施策概要	総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施する。					A:8割以上	小学校 1 2 校中学校 5 校すべての学校で人権や男女平等をテーマにした学習を実施した。 各教科において、「人権尊重の教育の視点」を取り入れた授業を実践した。 道徳では、人との関わりにおいて思いやりの心を育てた。 総合的な学習では、体験的に地域の自然、人々や文化など関わることで人権意識を育てている。 特別活動では、小学校においては異年齢集団活動を通して、自己を認め、互いの立場や考えを尊重できる場を設定した。 ハッピートークを始めたとした出前授業や「しっぴータイム」といった学校の独自の取り組みにより、自己肯定感を高めたり、社会のあらゆる差別・偏見をなくしたりするために人権意識を高める教育活動を行った。					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 実施学校数						（当該事業にかかる予算特定不能）					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	17校	17校				予算（千円）					
②						実績（千円）					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	49	事業名	審議会、委員会への女性の登用促進				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 4 政策決定過程への女性の参画の拡大					
	施策⑩審議会等への男女共同参画の促進										
施策概要	あま市の審議会、委員会への女性登用率の目標を「第 2 次あま市男女共同参画プラン」において令和13年度までに30%に定め、審議会等の委員の選出時に女性を積極的に登用する。										
【1】事業実績評価 ① 5 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 6 年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績				④方針	
審議会、委員会等の委員の選出時に女性を積極的に登用するよう、人権施策推進本部会議で啓発し、全職員が共有できるようにする。					B:4～7割	審議会、委員会等の委員の選出時に女性を積極的に登用するよう、4 月に人権施策推進本部会議及び電子掲示板で啓発した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
市幹部を集めて直接働きかけた。また啓発文書を発し、組織全体で意識共有する必要がある。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 審議会等（地方自治法第 2 0 2 条の 3）への女性の登用率						予算を伴わない					
② 啓発回数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	27.2%	28.5%	27.9%			予算（千円）					
②	1回	1回	1回			実績（千円）					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										4点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	51	事業名	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション（積極的改善措置）の実施や女性リーダーの育成					担当課	人事秘書課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 4 政策決定過程への女性の参画の拡大						
施策概要	市役所の女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクションの実施											
【1】事業実績評価 ① 5 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 6 年度計画方針												
①計画					②達成度	③実績					④方針	
女性職員の能力や適性を考慮し、管理職に登用する。					A:8割以上	新たに女性職員 2 人を主幹に登用した。					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 一般行政職主査級担当職以上に占める女性職員の割合						予算を伴わない						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	38.2%	39.4%	41.3%			予算（千円）						
②						実績（千円）						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。												
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○	
											3点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	56	事業名	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供				担当課	企画政策課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進				基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大						
施策概要	施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実										
施策概要	地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
●市民活動に関する情報提供（各種SNSで発信） ●登録団体からの情報収集 市民活動に関する情報の収集 ●市民活動団体の運営相談 市民活動に関する相談 ●市民活動祭の開催				A:8割以上		●市民活動に関する情報提供（SNS投稿件数） Facebook 83件（84件） Instagram 80件（76件） 公式LINE 13件（56件） メールマガジン 24件（24件） ボランティア募集メール 5件（10件） 合計205件（250件） ●登録団体からの情報収集件数 口頭、チラシ、電話、メール、等 合計476件（252件） ●市民活動団体の運営相談 合計231件（226件） ●市民活動祭の開催 テーマ 「つながりから生まれる「元気な未来！」」 日時 令和5年10月21日（土）10：00～15：00 場所 あま市文化の杜（美和文化会館） 内容 ①開会セレモニー ②市民活動センター・社会福祉協議会の紹介コーナー ③お楽しみ講演会～歴史愛好家 クリス・グレン氏～ 「あま市の歴史と戦国武将」 ④ブース出展／登録団体による活動のPR マルシェ・商工会事業者による物販等 ⑤ミニ講演会（あま市市民病院「ゼロから考える人生会議」） ⑥ステージ発表（登録団体による発表等） ⑦ボランティア情報コーナー・マッチングコーナー ⑧クイズラリー ⑨みんなで遊ぼうコーナー 登録団体による子どもも大人も楽しめるゲーム等 ⑩市民参加型フォトコンテスト「あまの魅力発見2023」 （来場者による投票実施） ⑪その他（協働事例等紹介コーナー等） 総参加者数 約3,600名（2,400名） （一般来場者、プログラム参加団体関係者、 中高生ボランティア、一般ボランティア、スタッフ他含む） 出展（店）ブース数 63ブース（R4：84ブース）				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
成功した点 回遊性のある企画を実施し、過去最高の来場者数（3,600人）となり、市民活動・ボランティアの普及啓発に寄与した。 改善した点 あまのわ 会場の変更・地域資源をテーマとしたゲスト講演会の開催・出展者による各種SNS媒体で継続的な情報を発信を促した 改善した点 センター 有料の配信サービスの使用を控えて、各種SNS媒体の発信に変更したことで経費削減に繋がった。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 市民活動祭の一般参加者による日頃ボランティアに参加しているかの数値						市民活動センター事業費 R5 13,092千円 / 13,089千円					
② 市民活動祭の一般参加者による参加希望活動があったかどうかの数値						市民活動祭運営費 R5 928千円 / 927千円					
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	30.0%	48.0%	48.0%			予算（千円）	14,020	14,020	12,861		
②	25.0%	31.2%	31.2%			実績（千円）	14,016	14,016			

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	56	事業名	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	担当課	企画政策課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大 施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実				
施策概要	地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供する。				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）					
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					○
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					○
					5点
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	57	事業名	社会教育活動を担う女性団体への支援					担当課	生涯学習課		
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大					
施策概要	施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実										
施策概要	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図る。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
盆踊り練習会 開催日：令和5年7月2日（日）午後1時～午後3時30分 場 所：甚目寺公民館 講義室1・2 ごきぶりダンゴ作り 開催日：令和5年5・6月予定 主催講座 開催日：令和5年6～10月予定 場 所：甚目寺公民館 主催講座「干支の木目込人形作り」 開催日：令和5年11月 場 所：甚目寺公民館 チャリティーバザー 開催日：令和5年10月22日（日）午後1時～午後3時 場 所：甚目寺公民館 大ホールホワイエ 交流イベント「未定」 開催日：令和6年2月 場 所：甚目寺公民館					A:8割以上	・夏まつり盆踊り練習会 日 時：令和5年7月2日（土）午後1時30分～午後3時30分 会 場：甚目寺公民館 講義室1・2 参加者数：80名 ・ゴキブリ団子作り 日 時：4月～7月 会 場：各地区 参加者数：70名 ・廃品回収 日 時：6月・11月 会 場：各地区 ・主催講座「防災の講習会」 日 時：7月～10月 会 場：各地区 参加者数：69名 ・主催講座「親子料理教室：ハロウィンのお菓子作り」 日 時：1回目：令和5年9月16日（土）午前9時30分～11時30分 2回目：令和5年10月14日（土）午前9時30分～11時30分 会 場：コミュニティプラザ萱津 参加者数：32名 ・チャリティーバザー 日 時：令和5年10月22日（日）午後1時～3時 会 場：甚目寺公民館 大ホールホワイエ 参加者数：約80名 ・主催講座「干支の木目込人形作り」 日 時：令和5年11月14・21日（火）午前9時30分～正午 会 場：甚目寺公民館 研修室 参加者数：20名					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① あま市女性の会が主催する事業数						講師謝礼、施設使用料、消耗品					
② 会員数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	6事業	7事業	7事業			予算（千円）	200	200	200		
②	103人	127人				実績（千円）	129	177			

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	57	事業名	社会教育活動を担う女性団体への支援	担当課	生涯学習課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大 施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実				
施策概要	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図る。				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）					
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					○
					3点
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	59	事業名	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知				担当課	商工観光課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組					
	施策⑬ワーク・ライフ・バランスの普及啓発										
施策概要	広報、市公式ウェブサイト等による情報提供を実施する										
【1】事業実績評価 ① 5 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 6 年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
国、県または関係団体から休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度周知依頼に応じ適宜周知を行う					A:8割以上	愛知県労働福祉課からの依頼を受けて令和5年 1 1 月号広報に「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動 第 1 回タウンミーティング」を掲載した。					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 国・県または関係団体からの依頼数						情報提供にかかる費用					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	1 件	1件				予算（千円）	0	0	0		
②						実績（千円）	0	0			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											
											1点
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	65	事業名	集団保育が可能な障がい児保育の実施				担当課	保育課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 施策⑭多様な保育サービスの充実						基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組					
施策概要	軽・中程度の集団保育が可能な障がい児及び食物アレルギーのある児童の保育を実施する。											
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針												
①計画						②達成度	③実績				④方針	
【対象施設】 ○ 公立保育園：9園 ○ 私立認定こども園：4園 【主な取り組み】 ○「あま市療育等連絡会議」の開催 全7回 ・療育に関する研修 日時：8月25日（金）午後2時より 場所：あま市役所 会議室 参加者：連絡会議関係職員全員 ・ケース検討及び情報交換 ○「あま市障がい児等保育実施委員会」の開催 全4回 ・事業報告、次年度事業計画について ・在園児、入園申込児の処遇審査について ○私立認定こども園に対する経費の補助の実施						A:8割以上	【実施施設】 ○ 公立保育園：9園 ○ 私立認定こども園：4園 【主な取り組み】 ○「あま市療育等連絡会議」の開催 7回 ・事業計画、実施報告等について ・ケース検討及び情報交換について ・療育研修会の開催 日時：8月25日（金）午後2時より 場所：あま市役所 D会議室 議題：「地域療育システムにおける重層的な連携」 講師：藤林 清仁氏 （同朋大学社会福祉学部社会福祉学科准教授） 人数：31名 ○「あま市障がい児等保育実施委員会」の開催 4回 ・事業計画、実施報告等について ・在園児、入園申込児の処遇審査について ○私立認定こども園に対する経費の補助の実施				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
職員を対象とした療育研修の開催にあたり、実際に保育現場において障がい児保育や保護者対応に対し困っていることを各園から挙げてもらい、事前に講師と打ち合わせをする時間を設けたことで具体的な事例を交えての講演で、抱えている悩みや不安の解消に結び付きより充実した研修とすることが出来た。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 児童数						障がい児等保育事業費補助金						
② 会議開催数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	147人	137人	110人			予算（千円）	10,242	13,590	13,695			
②	11回	11回				実績（千円）	15,222	17,239				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
										4点		
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	66	事業名	病児病後児保育の実施					担当課	保育課		
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組					
施策概要	施策⑭多様な保育サービスの充実										
施策概要	保護者の就労等のために家庭で保育等ができない児童で病気または病気の回復期にあり、集団での保育等が困難な児童を一時的に預かる。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
【実施場所（市内2か所）】 ○あま市民病院内（定員3人） ○ふたば病児保育室（定員6人） 【主な取り組み】 ○研修会への参加（ふたば病児保育室） ○周知啓発活動（あま市民病院内） ・時 期：4月及び7月～9月 ・場 所：市立保育園及び子育て支援センター ・内 容：ペープサートを用いた劇による啓発等 ・対象者：園児、親子					A:8割以上	【実施場所（市内2か所）】 ○あま市民病院内（定員3人） ○ふたば病児保育室（定員6人） 【主な取り組み】 ○研修会への参加（ふたば病児保育室） 「第33回全国病児保育研究大会in鹿児島」 ・会期：7月16日(日)～7月17日(月・祝) ・主催：一般社団法人全国病児保育協議会 ・会場：鹿児島県中央公民館（宝山ホール）※オンライン参加 ・内容：特別講演・教育講演・会長講演等 ・参加人数：医師1名 ○周知啓発活動（あま市民病院内） ・実施日：10月14日（土） ・場 所：あま市民病院内 ・内 容：「あま市民病院まつり」において来場者への周知・啓発等					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
コロナの指定区分も変更になり、昨年度と比べて多くの児童の受け入れができた。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 定員数						病児病後児保育事業費					
② 年間利用者数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	9人	9人	9人			予算（千円）	20,649	22,328	28315		
②	487人	966人				実績（千円）	18,396	18,840			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
5点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	68	事業名	ファミリー・サポート・センター事業の実施				担当課	子ども福祉課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 施策⑮地域における子育て支援の環境づくり						基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組					
施策概要	ファミリー・サポート・センター事業の会員が安心して相互援助を行えるよう、会員を対象に育児に関する知識・技術を身につけるための研修会・会報誌の発行等を実施する。											
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
・会員数1,024人 (あま市749人、大治町275人) ・活動件数2,221件 (あま市1,700件、大治町521件、内両住民による援助活動件数274件) ・援助会員養成講座10回 ・依頼会員登録説明会12回 ・活動報告・スキルアップ研修2回 ・交流会1回 ・情報交換会1回 ・会報誌発行2回 ・インスタグラムも活用しPRをする。				A:8割以上		・会員数1,041人 (あま市751人、大治町290人) ・活動件数2,728件 (あま市2,073件、大治町655件、内両住民による援助活動件数301件) ・援助会員養成講座10回 ・依頼会員登録説明会12回 ・活動報告・スキルアップ研修2回 ・交流会1回 ・情報交換会1回 ・会報誌発行2回 ・インスタグラムも活用しPRを行った。				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点 (自由記入)												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 会員数						委託料						
② 活動件数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	749 人	751 人				予算 (千円)	8,647	9,165	9,538			
②	2,221 件	2,728 件				実績 (千円)	8,517	8,690				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価 (該当する項目に○)												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画 (他部署との連携協力を含む) した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫 (情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等) をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
4点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	70	事業名	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施	担当課	障がい福祉課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組 施策⑰ 障がいのある子どもへのサービスの充実				
施策概要	平日の放課後や休日、夏季休業期間など就学時間外に支援が必要な就学児の居場所の確保する。 ・放課後等デイサービス ・日中一時支援事業				
【1】事業実績評価 ① 5 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 6 年度計画方針					
①計画		②達成度	③実績		④方針
就学時間外に支援が必要な就学児に、放課後等デイサービス及び日中一時支援事業の利用を勧める。		A:8割以上	放課後等デイサービス 年間延べ利用人数 4,979人 年間延べ利用日数 51,133日 年間給付額 533,488,887円 日中一時支援事業 年間延べ利用人数 1,202人 年間延べ利用日数 10,142日 年間給付額 54,396,402円		継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）					
【参考指標】					
【予算／実績】					
① 放課後等デイサービス年間延べ利用人数					
② 日中一時支援事業年間延べ利用人数					
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4,357 人	4,979人			
②	1,136 人	1,202人			
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4,357 人	4,979人			
②	1,136 人	1,202人			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）					
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					
4点					
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の開催		担当課	高齢福祉課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進			基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組		
	施策⑯介護者への支援の充実					
施策概要	認知症の人やその家族が地域の人や認知症サポーター等認知症の正しい知識を持った者と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェ（あま市においては「ふれあいカフェ」と称する）を市内で開催する。					
【1】事業実績評価 ① 5 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 6 年度計画方針						
①計画			②達成度	③実績		④方針
①ふれあいカフェ美和 場 所：グループホーム第 2 あま恵寿荘 開催日：毎月第3金曜日 時 間：13時30分～15時 ②ふれあいカフェ甚目寺 場 所：甚目寺総合福祉会館 開催日：毎月第 2 火曜日 時 間：10時～11時30分 ③ふれあいカフェあまちゃん中萱津 場 所：コミュニティプラザ萱津 開催日：毎月第4木曜日 時 間：13時30分～15時30分 ④伊福ふれあいカフェ 場 所：伊福地区集会所 開催日：毎月最終木曜日 時 間：10時～11時30分 ⑤ふれあいカフェあまちゃん下萱津 場 所：下萱津コミュニティ防災センター 開催日：毎月第4月曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑥ふれあいカフェあまちゃん甚目寺公民館 場 所：甚目寺公民館 開催日：毎月第 2 火曜日 時 間：13時30～15時30分 ⑦ふれあいカフェJAなの花甚目寺 場 所：JA甚目寺 開催日：毎月第1金曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑧ふれあいカフェJAなの花美和 場 所：JA美和 開催日：偶数月第 2 月曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑨新居屋ふれあいカフェ 場 所：新居屋憩の家 開催日：毎月第3月曜日 時 間：10時～11時30分 ⑩ご近所カフェポップ 場 所：グループホームポプラ 開催日：毎月第 2 土曜日 時 間：10時～12時 ⑪ふれあいカフェあまちゃん正則 場 所：正則コミュニティセンター 開催日：毎月第4土曜日 時 間：10時～12時 ⑫ふれあいカフェ歌声ぶらす 場 所：甚目寺公民館 開催日：毎月第 2 木曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑬ふれあい青空カフェ 場 所：あま市役所 交流広場 開催日：10月11日12日13日16日17日 時 間：10時00分～12時00分 13：00～15：00			A:8割以上	①延べ114人参加 ②延べ145人参加 ③延べ140人参加 ④延べ406人参加 ⑤延べ155人参加 ⑥延べ141人参加 ⑦延べ206人参加 ⑧延べ181人参加 ⑨延べ151人参加 ⑩延べ136人参加 ⑪延べ137人参加 ⑫延べ243人参加 ⑬延べ324人参加		拡充

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の開催				担当課	高齢福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組					
施策概要	施策⑨介護者への支援の充実										
施策概要	認知症の人やその家族が地域の人や認知症サポーター等認知症の正しい知識を持った者と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェ（あま市においては「ふれあいカフェ」と称する）を市内で開催する。										
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
ふれあいカフェを実施する団体数が2団体増え、前年度より実施回数を増やすことができた。市役所で青空カフェを実施し、ふれあいカフェの周知啓発を実施することができた。実施場所の確保に課題がある。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 開催回数						基幹包括主催カフェ運営費、カフェ運営費補助金					
② ふれあいカフェ運営費補助金申請団体数（予算に対する率）											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	98回	131回				予算（千円）	350	355	519		
②	80.0%	100.0%				実績（千円）	173	216			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	80	事業名	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 7 誰もが働きやすい職場環境づくり					
	施策②①男女の平等な雇用に向けた開発、情報提供										
施策概要	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供をする。										
【1】事業実績評価 ① 5 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 6 年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口に設置する。					A:8割以上	女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口に設置した。					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
市庁舎（人権推進課、商工観光課）、甚目寺庁舎、公民館 3 館など、より多くの市民の目に触れるように配慮した。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 情報提供回数						啓発活動にかかる消耗品費等					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	3回	3回				予算（千円）	0	0	0		
②						実績（千円）	0	0			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										3点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	88	事業名	シルバーカレッジ（市内在住または在勤の60歳以上の方を対象）、シルバーカレッジOB会（シルバーカレッジ卒業生を対象）の開催					担当課	生涯学習課				
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援							
施策概要	施策②⑤高齢者の社会参画促進												
施策概要	高齢者の生きがいや健康づくり活動に貢献するとともに、高齢者が本事業を通じて培った知識を生かし、地域発展の一助となるための事業を展開する。												
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針													
①計画					②達成度	③実績					④方針		
市内在住又は在勤の60歳以上の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図る。 期 間 6月3日（土）から1月27日（土）まで 講 座 全21回 場 所 シルバーカレッジ教室 他 定 員 36人					A:8割以上	市内在住又は在勤の60歳以上の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を行った。 期 間 6月3日（土）から1月27日（土）まで 講 座 全21回 場 所 シルバーカレッジ教室 他 定 員 36名 参加者 33名（うち卒業生：33名）					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）													
【参考指標】						【予算／実績】							
① 講座回数						講師謝礼							
② 定員に対する参加率													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	20回	21回	21回			予算（千円）	349	320	320				
②	80.0%	91.7%				実績（千円）	308	300					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											○		
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○		
4点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	89	事業名	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施				担当課	スポーツ課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	施策②⑤高齢者の社会参画促進										
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、高齢者の社会参画を促進する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
①はつらつ健康教室～シニア運動教室～ 内 容 自らの体力・健康を自覚し、自発的な介護予防 開催日 10月5日(木)～11月23日(木) 場 所 基目寺総合体育館 メインアリーナ 回 数 8回 ②市民ラジオ体操の集い 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月28日(日) 場 所 あま市役所新庁舎 開催日 6月25日(日) 場 所 基目寺総合体育館 野外ステージ 開催日 7月23日(日) 場 所 美和小学校 運動場 ③市民体力テスト 内 容 市民体力テストを実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月16日(土) 場 所 基目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 内 容 滋賀県長浜市余呉湖周辺ウォーキングコース(約6km)をウォーキング 開催日 10月22日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 内 容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の				B:4～7割		高齢者も比較的に無理なく参加できる行事を開催した。 ①各種スポーツ教室 ②市民ラジオ体操の集い 635人参加(全体) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月28日(日) 場 所 あま市役所新庁舎 303人参加 開催日 6月25日(日) 場 所 基目寺総合体育館 野外ステージ 163人参加 開催日 7月23日(日) 場 所 美和小学校 運動場 169人参加 ③市民体力テスト 内 容 市民体力テストを実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月16日(土) 場 所 基目寺総合体育館 メインアリーナ 47人参加 ④市民歩け歩け会 内 容 滋賀県長浜市余呉湖周辺ウォーキングコース(約6km)をウォーキング 開催日 10月22日(日) 117人参加 ⑤市民走ろう・歩こう会(雨天中止) 内 容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月21日(日)				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)											
令和4年度より、新たに市民の体力・運動能力の現状を明らかにすることで、健康及び体力の保持、増進の意識を高め、継続を促すことを目的とし、市民体力テストを実施した。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① ラジオ体操の集い参加者数(全体)						報償費、傷害保険料、委託料、車借上料、各種借上料					
② 市民走ろう・歩こう会参加者数(全体)											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	409人	635人				予算(千円)	961	1,107	1,181		
②	229人	雨天中止				実績(千円)	218	664			

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	89	事業名	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施	担当課	スポーツ課
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進 基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援 施策⑳高齢者の社会参画促進				
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、高齢者の社会参画を促進する。				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）					
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					○
					4点
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	117	事業名	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供				担当課	スポーツ課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援					
施策概要	施策⑳障がいのある人の社会生活向上のための取組										
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、障がいのある方の社会参画を促進する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画			②達成度		③実績			④方針			
①各種スポーツ教室 ②市民ラジオ体操の集い 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月28日(日) 場 所 あま市役所新庁舎 開催日 6月25日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 開催日 7月23日(日) 場 所 美和小学校 運動場 ③市民体力テスト 内 容 市民体力テストを実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月16日(土) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 内 容 滋賀県長浜市余呉湖周辺ウォーキングコース(約6km) をウォーキング 開催日 10月22日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 内 容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門)			B:4～7割		障がいのある方も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 ①各種スポーツ教室 ②市民ラジオ体操の集い 635人参加(全体) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月28日(日) 場 所 あま市役所新庁舎 303人参加 開催日 6月25日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 163人参加 開催日 7月23日(日) 場 所 美和小学校 運動場 169人参加 ③市民走ろう・歩こう会(雨天中止) 内 容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月21日(日)			継続			
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)											
令和4年度より、新たに市民の体力・運動能力の現状を明らかにすることで、健康及び体力の保持、増進の意識を高め、継続を促すことを目的とし、市民体力テストを実施した。											
【参考指標】					【予算／実績】						
① ラジオ体操の集い参加者数(全体)					報償費、傷害保険料、委託料、車借上料、各種借上料						
② 市民走ろう・歩こう会参加者数(全体)											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	409人	675人				予算(千円)	143	308	326		
②	229人	雨天中止				実績(千円)	14	21			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○)											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										4点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	130	事業名	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施				担当課	子ども福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進						基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援				
施策概要	施策③ひとり親等生活困窮者への支援										
施策概要	母子・父子自立支援員がひとり親の自立に向けた、就業・子育てに関する相談・支援をする。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施する。				A:8割以上		母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施する。 母子家庭等相談件数 51件 母子家庭等就業相談件数 129件				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 母子家庭等相談件数						母子父子自立支援員配置費					
② 母子家庭等就業相談件数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	335 件	51 件				予算（千円）	2,441	2,434	3,006		
②	43 件	129 件				実績（千円）	2,435	2,233			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	138	事業名	性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布				担当課	人権推進課				
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進 施策③④性の多様性と性的マイノリティへの理解促進						基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援					
施策概要	性的指向・性自認（性同一性）の多様性（SOGI）について理解を深めるため、啓発物の配布や、講座を開催する。											
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
・啓発パンフレットを各施設の窓口に配置 ・啓発パンフレットを配布				A:8割以上		・啓発パンフレットを各施設の窓口に配置 ・啓発パンフレットを配布 ・職員人権研修（追加研修） 内 容：ファミリーシップ制度に関すること 開催日：令和6年1月23日（火） 場 所：あま市役所 B 会議室 参 加：31人				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓を受けて自治体が証明する制度の拡がりを鑑みて、本市での導入に向けた研究や職員研修を実施した。												
【参考指標】						【予算／実績】						
①情報提供および講座開催回数						市民向け啓発催事の報償費						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	4回	4回				予算（千円）	20	0				
②						実績（千円）	20	52				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
										3点		
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	145	事業名	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備				担当課	社会福祉課				
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進						基本方針 9 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援					
施策概要	施策③⑥相談体制の充実											
施策概要	地域住民やその世帯の複雑化・複合化した地域生活課題や支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する。											
① 5 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 6 年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
地域共生社会の実現、重層的支援体制整備、多機関協働に向け、福祉部のほか、関係各課と事務調整会議（仮称）を実施する。				C:3割以下		現時点で事務調整会議（仮称）は実施できていない。 重層的支援体制整備事業への移行準備事業を令和 6 年度以降、実施できるように検討中である。 なお、実施に向けて県主催の研修案内等について回覧し、情報共有を行っている。				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
実施に向けての研修案内等について情報共有は行えている。関係各課と事務調整会議（仮称）が実施できるように体制を整える。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 多機関協働の支援に至った相談件数												
② 事務調整会議（仮称）と重層的支援会議（仮称）の開催回数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	0件	0件				予算（千円）	0	0	0			
②	0回	0回				実績（千円）	0	0				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。												
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。												
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。												
											点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	158	事業名	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施				担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針10 生涯を通じた女性のこころとからだの健康支援					
施策概要	施策③⑨母子保健事業の充実										
施策概要	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
支援の必要な妊婦についての妊婦訪問を随時実施する。あま市在住の家庭に対し、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施する。その後の支援も必要であるようなら継続的に訪問するため、「養育支援訪問」を導入する。 コーディネーター、地区担当保健師や助産師訪問を（産前産後サポート事業）実施する。					A:8割以上	こんにちは赤ちゃん訪問事業について、令和5年度529件（内、委託67件）実施。 また、他市町村の依頼によりあま市に里帰りしている市外在住の母子について、12件こんにちは赤ちゃん訪問を実施した。 養育支援訪問28件実施した。					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
こんにちは赤ちゃん訪問実施件数						委託料					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	569件	529件				予算（千円）	640	564	410		
②						実績（千円）	312	247			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
3点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	171	事業名	市の防災会議への女性の登用				担当課	危機管理課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進					
	施策④②防災分野における男女共同参画の推進										
施策概要	防災分野において、男女のニーズの違いなど、男女の視点に配慮した防災活動を進める。防災会議で災害時における女性目線での意見を求める。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画			②達成度		③実績				④方針		
防災会議 1 回開催 女性委員 5 人			A:8割以上		防災会議 2 回開催 令和 5 年 6 月 1 日（木） 女性委員 4 人 令和 6 年 2 月 2 8 日（水）開催予定				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 委員の構成比率 女性／全体（人）						予算を伴わない					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4/24	5/24				予算（千円）					
②						実績（千円）					
男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										2点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	172	事業名	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進					
施策概要	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発や、連携体制をつくる。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
「相互支援ネット」（災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク）で情報共有					A:8割以上	・「相互支援ネット」（災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク）で情報共有 「R23.5.5 石川県能登地方を震源とする地震について」始め8件、運用訓練1回（内閣府男女共同参画局、石川県等の活動報告を含む）					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
大規模災害のリスクも高まっているため、職員や市民向けにジェンダーの視点による災害対策の啓発をしていく必要がある。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 啓発活動の取組数						啓発活動にかかる報償費等					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	3	1				予算（千円）	74	0	0		
②						実績（千円）	66	0			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
5点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	176	事業名	女性に対する暴力をなくす運動期間について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり		基本方針12 暴力の根絶に向けた意識啓発								
施策概要	女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画			②達成度		③実績					④方針	
・女性に対する暴力をなくす運動期間 広報掲載 ・女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展 ・リバーサイドガーデンパープルライトアップ			A:8割以上		・女性に対する暴力をなくす運動期間 広報掲載 ・女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展 開催日 令和5年11月13日(月)～11月24日(金) 場 所 市役所 1 階東エントランス 内 容 知ってほしい、DVのこと ・パープルライトアップ 開催日 令和5年11月11日(土)～11月26日(日) 場 所 リバーサイドガーデン内ガーデンブリッジ、市役所庁舎 周知媒体：市公式ウェブサイト、10月号広報あま、 市政情報メール、市公式LINE、市公式Instagram					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
パネル展：新庁舎で展示をして多くの市民に観覧してもらえた。効果的に啓発する方法をさらに工夫していく。 パープルライトアップ：ガーデンブリッジのライトアップに加えて、今年度は新庁舎の東側広場をライトアップする試みをした。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 市公式SNSの反応数						啓発活動にかかる消耗品費等					
② 催事に参加した市民の満足度（アンケート結果）の平均点											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	1,663	1,435				予算（千円）	0	0	0		
②	20点	79点				実績（千円）	0	0			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	184	事業名	地域防犯灯の設置支援				担当課	危機管理課				
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり						基本方針13 犯罪防止に配慮した環境整備					
施策概要	施策④地域における防犯対策の推進											
施策概要	区等が設置する防犯灯に対し、その設置費用の一部を補助し、防犯灯の設置を促す。また、寿命が長く電気料金も定額となるLED防犯灯の普及を推進、区等の維持管理に関する負担を軽減する。											
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
区等に対し防犯灯設置費用を補助する。 計400灯 従来型防犯灯（蛍光灯等） LED防犯灯（新設または省エネルギー化のための交換） LED防犯灯（老朽化による交換）				B:4～7割		区等に対し防犯灯設置費用を補助した。 計142灯 従来型防犯灯（蛍光灯等） 補助率1/2 13千円/灯 まで補助 LED防犯灯（新設または省エネルギー化のための交換） 補助率2/3 40千円まで補助 LED防犯灯（老朽化による交換） 補助率1/2 13千円まで補助				縮小		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 区管理の防犯灯のLED化率						防犯灯設置費補助金						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	80.8%	82.3%				予算（千円）	8,400	8,400	7,200			
②						実績（千円）	5,326	3,035				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。												
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。												
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
										1点		
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	197	事業名	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）の実施				担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり				基本方針13 犯罪防止に配慮した環境整備						
施策概要	施策④⑤相談・支援体制の充実と周知										
施策概要	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問をの実施する。										
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待予防の早期発見と未然防止につなげるため、こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）を実施する。継続的な支援が必要であれば「養育支援訪問」として、定期的に訪問し、見守りをしていく。				A:8割以上		こんにちは赤ちゃん訪問事業について、令和5年度529件（内、委託67件）実施。 また、他市町村の依頼によりあま市に里帰りしている市外在住の母子について、12件こんにちは赤ちゃん訪問を実施した。 養育支援訪問28件実施した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
こんにちは赤ちゃん訪問実施件数						委託料					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	569件	529件				予算（千円）	640	564	410		
②						実績（千円）	312	247			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										3点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	198	事業名	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催				担当課	健康推進課									
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり											基本方針14 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実					
施策概要	施策④⑤相談・支援体制の充実と周知																
施策概要	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会を開催する。																
【1】事業実績評価 ①5年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④6年度計画方針																	
①計画					②達成度		③実績					④方針					
・利用者支援事業（母子保健型） 妊娠・出産期に支援の必要な方に対し、支援プランを作成するために要支援検討会を開催し、妊娠中からの継続支援を実施する。 要支援検討会 年12回開催					A:8割以上		母子健康手帳交付時の様子やアンケートを元に支援プランを立案。要支援検討会を計15回開催した。健康推進課職員、子育てコンシェルジュ、子ども福祉課職員が参加し、必要時は他課とも連携し、情報共有しながら必要な支援体制を検討、実施した。 R5年度のケース検討数は192件、支援プラン作成者は152名であった。					継続					
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）																	
【参考指標】								【予算／実績】									
① 要支援検討会の開催回数								専任コーディネーター、アドバイザー費用									
②																	
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	15回	15回				予算（千円）	3,603	3,614	4,334								
②						実績（千円）	3,543	3,033									
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）																	
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。															○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。															○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。																	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。															○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。															○		
															4点		
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント																	